

「汚染水放出反対」経産相に

福島・相馬と

いわきの漁協

を求めました。

東京電力福島第一原

発事故で発生する「ア

ルプス処理水」の海洋

放出計画を巡り、西村

康徳経済産業相は30

日、福島県の相馬市と

いわき市にある漁業協

同組合を相次いで訪

ね、漁業者らと面談し

ました。いずれの漁協

も「反対の立場は変わ

らない」と改めて強

調。西村氏は、政府と

して「夏ごろ」の放出

を旨とする方針を「変更

はない」と述べ、理解

西村氏は、午前相

馬双葉漁協(相馬市)、

午後いわき市漁協

(同市)を訪ねまし

た。両漁協との面談終

了後に記者団の取材に

応じ、具体的な放出開

始時期については「安

全性の確保や風評対策

の取り組みの状況を確

認しながら判断した

い」と述べるにとどめ

ました。

面談では、漁業者か

ら「(廃炉まで)海洋放

出が続く。将来に向け

不安しかない」、「われ

われの生活を最後まで

守ってもらいたい」と

の声が上がりました。

「既に水産物の価格な

どに影響が出ている」

との指摘もありまし

た。

これに対し、西村民

は、政府が処理水放出

に伴う風評被害対策と

して創設した300億

円の基金に触れ、「放

出前でも、必要であれ

ばすぐ手当てできるよ

う措置する」と説明し

ました。

宮城県漁協

東京電力福島第一原

発事故で発生する「ア

ルプス処理水」の海洋

放出を巡り、西村康徳

経済産業相は29日、宮

城県石巻市で県漁業協

同組合の寺沢善彦組合

長ら地元漁業関係者と

面会しました。西村民

は冒頭、海洋放出につ

いて「福島第一原発の

廃炉、福島復興のため

には避けては通れな

い」と理解を求めまし

た。

会談は冒頭を除き、

非公開で行われまし

た。寺沢組合長は面会

後、報道陣の取材に

「われわれは反対とい

う立場は変わらない」

と表明。その上で「ア

ラビやホタテの価格下

落など」既に実害が発

生している」と指摘

し、「いま(被害を)受

けている現状をまずは

クリアしていただきたく

い」と政府に対応を求

めました。

西村氏も仙台市内で

取材に応じ、「風評影

響に備え、300億円

の基金(を)活用した支

援)や賠償などの措置

を講じることとしてい

る。事情を聞きなが

ら、放出前であっても

こうした措置を含め適

切に対応したい」と述

べました。

アルプス処理水は、

事故で発生する放射能

汚染水を処理した後に

残る、放出基準を大き

く上回る高濃度のトリ

チウム(3重水素)を

含む汚染水。政府と東

電は、海水を混ぜて基

準値未満に薄めて海に

放出する方針です。